



Amappo



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第192号 2018年3月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成30年2月28日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

Amappo ～勝手に街キャラ～

追浜では、国道16号線と日産やオカムラなど追浜工業地域に続く夏島貝塚通りが接する京浜急行追浜駅前を中心に様々なイベントが開催されます。これらの道路と線路を結びとちょうど弓矢の形になります。ローマ字表記の「oppama」を後ろから反対に綴ると「amappo」となります。自然の恵みに感謝をする民族アイヌ人にとってアマッポとは仕掛け矢を意味します。そこで、常に右肩上がりの未来に向けて弓矢を放つキューピットを「Amappo」と命名し、勝手に追浜の街のキャラクターに制定しちゃって一年が経ちました。



追浜の街の非公開キャラクター Amappo (アマッポ)

ヒートショック

冬場は暖房がきいた暖かい部屋から寒い戸外やトイレ、浴室などへの移動時に、温度差が大きいと、血圧がジェットコースターのように急上昇したり、急降下したりするリスクがあります。自宅や温泉で入浴中に意識を失うといった入浴事故が増加傾向にあります。浴室の場合は、入浴前に5分程度シャワーを先に出して、湯気で浴室と脱衣室を暖めて温度差を減らし、あまり熱くない40℃までの湯に入り、入浴は1回5分程度にすることを心がけるだけでもある程度の予防ができるようです。



皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. Next50
創刊 2002.4.1.

よこすか文学館

<27>

横須賀市にゆかりのある文学者や歴史上の人物にスポットをあてて、時代背景とエピソードを交えながら彼らの文芸を紹介します。

【咸臨丸の人々】勝海舟③ 「授爵を詠んだ歌」

勝海舟は折に触れ、短歌を詠んでいます。自らは、文学について、「何一つ修業したことはない」(『水川清話』)と語っていますが、一方で、薩摩出身の歌人八田知紀やその弟子高崎正風に歌の添削を受けたことがあったようです(『海舟語録』)。さて、海舟は明治20年、勲功により伯爵に叙せられますが、それ以前に一旦、子爵の内命を受けていたようで、「今までは並のからだと思ひしが 五尺に足らぬしやくなりとは」という歌を詠んでいます。「子爵」と「四尺」の掛詞で、今まで自分では人並みの体だと思っていたが、五尺(約150cm)以下の「四尺」ならぬ「子爵」とは意外だ、という歌意。ちなみに、同年の伯爵授爵者には板垣退助がいます。



高妻橋の勝海舟像

〔洗足学園中学高校教諭 中島正二〕

住み慣れた住まいを暮らしやすい環境にして自立を目指すことを目的に介護保険制度の住宅改修が2000年4月からスタートしました。この4月から介護保険制度の見直しが実行されます。要介護(要支援)の認定を受けている方は、介護保険負担割合証に記載されている負担割合が8月から変更になる場合がありますので、7月頃に通知される書類にてご確認ください。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

日常の動作を効果的にサポートできる事例をご紹介します。



トイレは、車イスでもアプローチがしやすくなるように、スライドドアで段差をなくし、自動で点滅する照明を設置します。



階段は、手をスライドさせながら昇り降りができるように、連続した手すりを設置します。



浴室は、効果的に手すりを設置します。

横須賀ストーリーズ（YRPの建設）〈9〉

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀市の変遷やまちづくりのこぼれ話についてお話を伺いました。

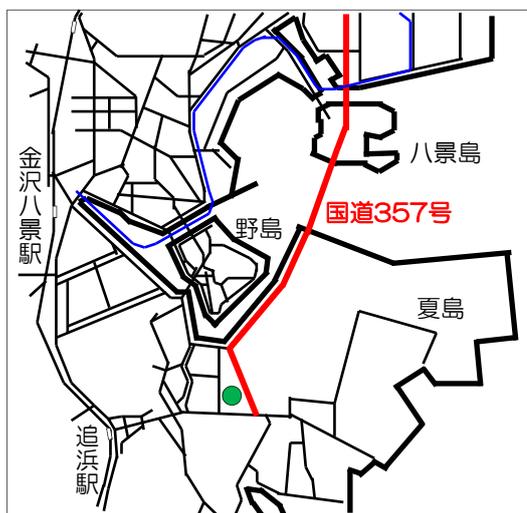
横須賀リサーチパーク（YRP）の建設は、昭和48年に当時の電信電話公社が建設した研究所（以下武山通研と称する）に隣接して、土地所有者の京浜急行株式会社から国の制度を利用して開発したいとの事前相談がありました。面積約60ヘクタールにおよぶ開発なので、単なる住宅地開発ではなく他の都市機能を加えることが出来ないかと考えました。

武山通研には仕事の関係で度々訪問していましたが、武山通研の床面積は約10万平方メートルで、研究内容の複雑多様化には対応出来ない状況にあり、同規模の研究施設を建設できないかとの相談がありました。しかし、通研の敷地内では土地利用上の法規制により建設が不可能であることが判明しました。

武山通研の研究内容を伺う中で、全国に先駆けて三鷹市で実施したキャプテンシステムの設計から、その運営管理までを実施しており、高度情報化も産業界や行政のみでなく市民生活の中にも深く入り込んでくるのではないかと考えました。そうしたことから京浜急行の開発について研究会を立ち上げ、京浜急行、NTT、造成事業担当者を中心に市もアドバイザーとして参加し、1年余の検討結果を1986年7月に「横須賀インテリジェントシティ計画」として発表し、大きく新聞報道がされました。この計画に郵政省が関心を示し、横須賀市に対して、1) この計画は企業の計画なのか、2) 市としてはどのように考えているのか、3) 市の計画への位置づけは考えているのか、との照会があり、市としては検討会にも参加しており、高度情報化は大きな時代潮流で総合計画の中には位置づけ、市として実施可能なものは実施計画の中に明記して、他の都市に先駆けて高度情報化都市を目指す覚悟である旨を伝えました。郵政省でこうした市の取り組みを受け両者で協議し、民間活力導入の郵政版第1号に向けて協力しようとの内定を頂きました。そして、こうしたプロジェクトの為に開発戦略をきちんと立てることが将来の横須賀市における先端技術産業を位置づけることになるので、多面的なメンバーで協議会を設置し検討すべきとの提案があり、検討会が設置され慎重審議のうえ「横須賀リサーチパーク構想（YRP）」が出来上がりました。この構想のもとに土地利用上の法的手続きが進められ、事業に着手しYRPへの企業誘致に入りました。郵政省、京浜急行、NTT、市と一体となつての活動により、郵政省の小金井に所在する「総合通信研究所」の無線部門の進出が決定し、民間企業ではNTTドコモの研究所誘致に成功しました。こうした中心的な研究所の進出を契機に多くの機関が独立研究所、共同施設への進出など誘致活動の成果が上がり、現在のYRPへと成長することになりました。

（元横須賀市助役 井上吉隆）

国道357号



国道357号は、千葉県千葉市から横須賀市に至る延長約92km（神奈川県区間は延長約35.1km）の一般国道です。終点部となる横浜市金沢区の埋立地から横須賀市夏島町までの区間（約2.3km）については、昭和63年6月に都市計画決定後、長期にわたり未整備の状態が続いていましたが、今年の夏にも、夏島交差点の改良工事が着工される見通しです。

横須賀市では、人口減少、企業撤退、国道16号の慢性的渋滞や災害時における道路交通網の脆弱性、複数の緊急輸送経路を確保するなど直面している諸問題の解決策として、国道357号の整備が必要不可欠であるとし、その後、海上部分や夏島町以南の箱崎や横須賀基地などの米軍施設を通るアクセスルートについても早期具体化を要望していくようです。

（参考資料「横須賀市ホームページ」「神奈川新聞」）

お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2018」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索